

実行委員会発足

「思い出に残る成人式を目指し、新成人の企画・運営による成人式」を行おうと「実行委員会形式」を取り入れて10年。
その取り組みと今後の課題について考えてみました。

実行委員会形式

成人の日は「おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」日として昭和23年に制定され、それ以降多くの自治体でこの日に成人式を行うようになりました。

しかし近年、出席率の低下や新成人のモラルの問題などが取りざたされ、成人式の在り方などが問題になってきました。

そんな中、市では「新成人による新成人の成人式」を行おうと平成11年から、新成人になる人たちによる「実行委員会形式」を取り入れました。

取り組み

1年目は式典後のアトラクションのみを担当しましたが、2年目からは実行委員会がいろんなアイデアを出すことで、新成人のメッセージ集を作成したり、受付や司会なども自分たちで行ったりするようになりました。

また、アトラクションについても太鼓や三味線など数カ月前から練習を重ね、オープニングで披露するようになり、「自分たちの成人式」となるよう企画・運営について会議や練習を重ねてきました。

この取り組みが評価され、今年「新成人式大賞企画賞」を受賞しました。

今後の課題

式典終了後に「実行委員会」やりたかった」という声を聞くことがありますが、それだけ実行委員会の取り組みが評価されたということでは嬉しいことですが、一生に一度の機会を逃さないよう積極的に手を上げていただきたいと思っています。

毎年、実行委員に手を上げてくれる人は少なく、人員を確保するのに苦労しているのが現実です。

これから成人式を迎える人には、一人でも多くの人に「自分たちでつくる成人式」を経験して欲しいと願っています。



新成人式大賞企画賞を受賞

次世代の社会を担う若者たちの門出を祝い励まし成人としての自覚を促すことなどを狙いとして、平成13年に設立された新成人式研究会から「企画が時代にマッチした新しさをもち、総合的に見て優れた内容・運営であった成人式」に贈られる「新成人式大賞」の企画賞を受賞しました。

これは、新成人による実行委員会を組織して企画・運営を行う方式をとっていること、多彩な手作り感あふれる記念行事が参加した新成人を魅了するテーマの実現に成果を挙げていること、また、ジュニアリーダー・実行委員OBなどの力強いバックアップがあることなどが評価された結果です。

